

令和4年度 授業計画書(シラバス)

授業科目名							
疾病と傷害2							
学科・昼夜	学年	学期	担当教員名		実務経験		
柔道整復学科・昼間部	2年	4期	河内 和宏		○		
分野区分	教育課程			講義形式	単位	コマ数	
専門分野	疾病と傷害			座学	1	10	
科目概要							
呼吸器、循環器、消化器疾患を理解できるようになる。将来の鑑別診断が可能となる。							
目標							
<b>一般目標(GIO)</b> <small>本講義を学習することで達成されるべき目標</small>	呼吸器、循環器、消化器疾患を理解する						
	<b>到達目標(SBO)</b> <small>一般目標を達成するために必要な具体的な内容、客観的な指標(合格基準)</small>						
呼吸器、循環器、消化器疾患の基礎的な知識について、複数の選択肢の中から、正しい答えを選択することができる。 (特に、胸痛や腹痛や背部痛における鑑別診断を実際的に体感理解することが重要。)							
履修に必要な予備知識や技能							
解剖学、生理学全般							
教科書・参考書							
一般臨床医学 改訂第3版 南江堂							
受講上の注意							
他の学生の迷惑になることをしない。							
成績評価方法							
評価方法	定期試験	小テスト (チェックテスト)	レポート	実技試験	プレゼンテーション	その他	(合計)
評価割合(%)	100						100
	定期試験...4者択一のマークシート						
回数	授業内容			教科書	教材・持ち物		
第1回	呼吸器解剖が理解できる。			99～114	教科書、ノート、プリント		
第2回	呼吸器(喘息、肺気腫、肺癌、肺梗塞が理解できる)			99～114	教科書、ノート、プリント		
第3回	循環器(狭心症、心筋梗塞、の理解と治療の把握ができた)			114～129	教科書、ノート、プリント		
第4回	循環器(弁膜症、先天性心疾患を理解して心不全対策を理解)			114～129	教科書、ノート、プリント		
第5回	循環器のまとめ、消化器疾患に必要な解剖知識を得る			114～129	教科書、ノート、プリント		
第6回	消化器(食道がん、胃癌、大腸癌の最新知識を得る)			114～156	教科書、ノート、プリント		
第7回	消化器(肝臓がん、すい臓がん、胆石症の知識を得る)			114～156	教科書、ノート、プリント		
第8回	消化器(良性膵疾患、腸閉塞を理解する)、試験対策もできた			114～156	教科書、ノート、プリント		
第9回	試験				筆記用具		
第10回	まとめ						
実務経験と本講義との関連について							
整形外科と外科と麻酔の修練を3年、豪州も含め14年間心臓血管外科医として実践、その後循環器の開業医として地域医療を10年以上行っている。また血管外科の手術診療を近隣病院で継続している。産業医活動にて検診や予防医療にも従事している。米国や日本の医師国家試験なども継続的に勉強している。以上の経験知識をもとに一般臨床と外科学の講義を担当させていただきます。							
メールアドレス							
kouchi-t@nihonisen.ac.jp							